

2018年度機関リポジトリ新任担当者研修&JAIRO Cloud 操作説明会 結果まとめ (概要)

※本概要では、事前課題とアンケートの自由記述は省略。

オープンアクセスリポジトリ推進協会
研修作業部会

1 開催日時

- 第1回 2018年7月26日(木)～27日(金)
- 第2回 2018年9月27日(木)～28日(金)
- 第3回 2018年10月25日(木)～26日(金)
- 第4回 2018年11月29日(木)～30日(金)

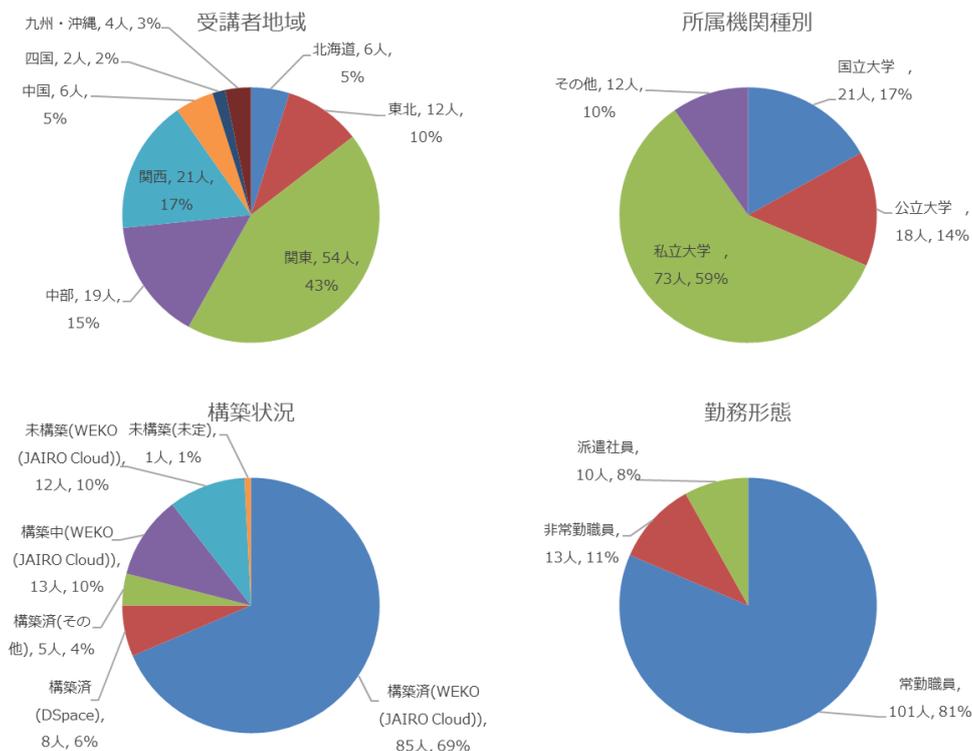
2 申込・受講状況

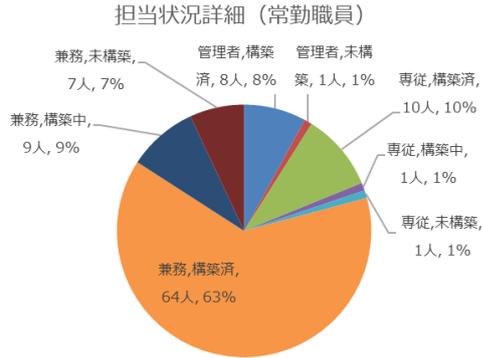
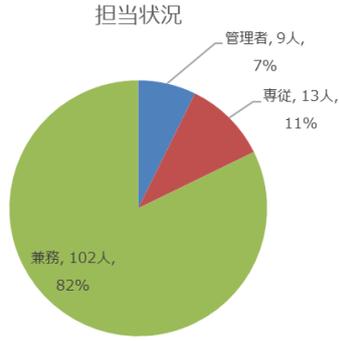
① 概況

申込者数は延べ180人。受講許可者数は124人。約69%が受講できたことになる。(1名急遽欠席したため、実際の受講者数は123人)

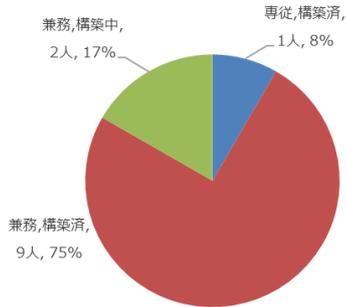
また、試行を行ったオンライン配信実験は延べ12人が受講した。

② 受講者の分布 (オンライン配信受講者を除く)

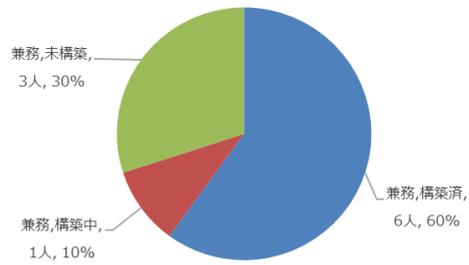




担当状況詳細 (非常勤職員)



担当状況詳細 (派遣社員)



3 当日担当一覧

| 担当 | 第1回 | 第2回 | 第3回 | 第4回 |
|----------------|---|--|--|--|
| 研修部会員講師・スタッフ一覧 | 三村 裕紀 (関西外国語大学) 今野 智子 (甲南大学) 鈴木 恵津子 (東京家政大学) 後藤 明日香 (東洋大学) 加川 みどり (神戸松蔭女子学院大学) 鈴木 祐介 (政策研究大学院大学) 【教員】朱 藝 (シュイイ; Zhu, Yi) (筑波大学) | 今野 智子 (甲南大学) 長嶋 岳生 (室蘭工業大学) 鈴木 祐介 (政策研究大学院大学) 高野 沙弥 (田園調布学園大学) 加川 みどり (神戸松蔭女子学院大学) 【教員】熊谷 正朗 (東北学院大学) | 長嶋 岳生 (室蘭工業大学) 鈴木 祐介 (政策研究大学院大学) 山口 美咲 (信州大学) 高野 沙弥 (田園調布学園大学) 加川 みどり (神戸松蔭女子学院大学) 【教員】矢吹 命大 (横浜国立大学) | 三村 裕紀 (関西外国語大学) 鈴木 恵津子 (東京家政大学) 鈴木 祐介 (政策研究大学院大学) 山口 美咲 (信州大学) 加川 みどり (神戸松蔭女子学院大学) 【教員】森田 幸雄 (東京家政大学) |

| | | | | |
|-----------------------------------|---|---|---|---|
| JAIRO Cloud 運用作業部会講師・スタッフ一覧 | 前田 朗 (東京大学) 杉田 茂樹 (上越教育大学) 下城 陽介 (上越教育大学) | 下城 陽介 (上越教育大学) 前田 朗 (東京大学) 佐藤まみ子 (筑波大学) | 小林 真理絵 (東北大学) 前田 朗 (東京大学) 武内 八重子 (放送大学) | 佐藤 まみ子 (筑波大学) 前田 朗 (東京大学) 武内 八重子 (放送大学) |
| 1日目及び2日目の司会進行 | 後藤 明日香 | 今野 智子 | 鈴木 祐介 | 三村 裕紀 |
| 1日目及び2日目のオンライン配信実験主担当 | 加川 みどり | 鈴木 祐介 | 長嶋 岳生 | 山口 美咲 |
| ■機関リポジトリ新任担当者研修 | | | | |
| 1日目 1. 機関リポジトリ概論 講師 | 三村 裕紀 | 今野 智子 | 長嶋 岳生 | 鈴木 恵津子 |
| 2. システム管理とメタデータ 講師 | 三村 裕紀 | 長嶋 岳生 | 長嶋 岳生 | 三村 裕紀 |
| 3. 著作権及び著作権譲渡契約 講師 | 今野 智子 | 鈴木 祐介 | 鈴木 祐介 | 山口 美咲 |
| 事例報告1 講師 | 鈴木 恵津子 | 長嶋 岳生 | 山口 美咲 | 三村 裕紀 |
| 事例報告2 講師 | 今野 智子 | 鈴木 祐介 | 高野 沙弥 | 加川 みどり |
| 4. コンテンツ構築 講師 | 後藤 明日香 | 今野 智子 | 加川 みどり | 鈴木 祐介 |
| 5. 研究者からみた機関リポジトリ 講師 | 朱 藝 | 熊谷 正朗 | 矢吹 命大 | 森田 幸雄 |
| 2日目 6. JPCOAR スキーマ及び研究データ管理 講師 | 今野 智子 | 今野 智子 | 鈴木 祐介 | 鈴木 祐介 |
| 7. グループ討議 進行及びまとめ | 鈴木 恵津子 | 高野 沙弥 | 高野 沙弥 | 鈴木 恵津子 |
| ■JAIRO Cloud 操作説明会 | | | | |
| JC1. JAIRO Cloud サービス概要 講師 | 前田 朗 | 下城 陽介 | 小林 真理絵 | 佐藤 まみ子 |
| JC2. NetCommons で画面作成 講師 | 前田 朗 | 下城 陽介 | 小林 真理絵 | 佐藤 まみ子 |
| JC3. インデックスツリー作成実習 講師 | 前田 朗 | 下城 陽介 | 小林 真理絵 | 佐藤 まみ子 |
| JC4. コンテンツ個別登録実習 講師 | 後藤 明日香 | 高野 沙弥 | 加川 みどり | 鈴木 祐介 |
| JC5. 一括登録実習 講師 | 前田 朗 | 下城 陽介 | 小林 真理絵 | 佐藤 まみ子 |

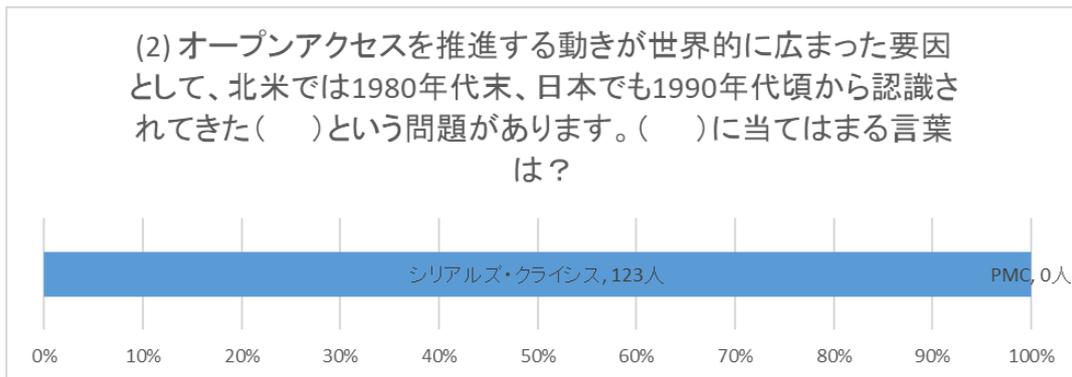
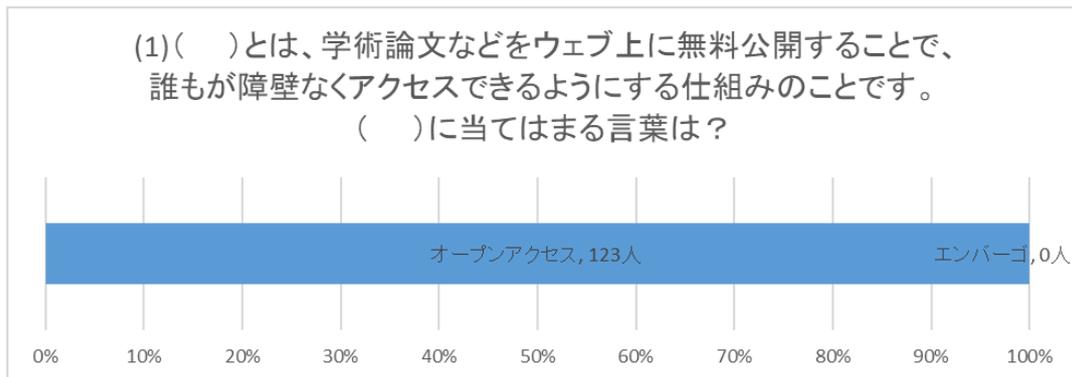
| | | | | |
|-------------------------------------|-------|-------|--------|--------|
| JC補足 JAIRO Cloud/ERDB-JP 自動連携 講師 | 今野 智子 | 今野 智子 | 加川 みどり | 加川 みどり |
|-------------------------------------|-------|-------|--------|--------|

4 事前課題集計

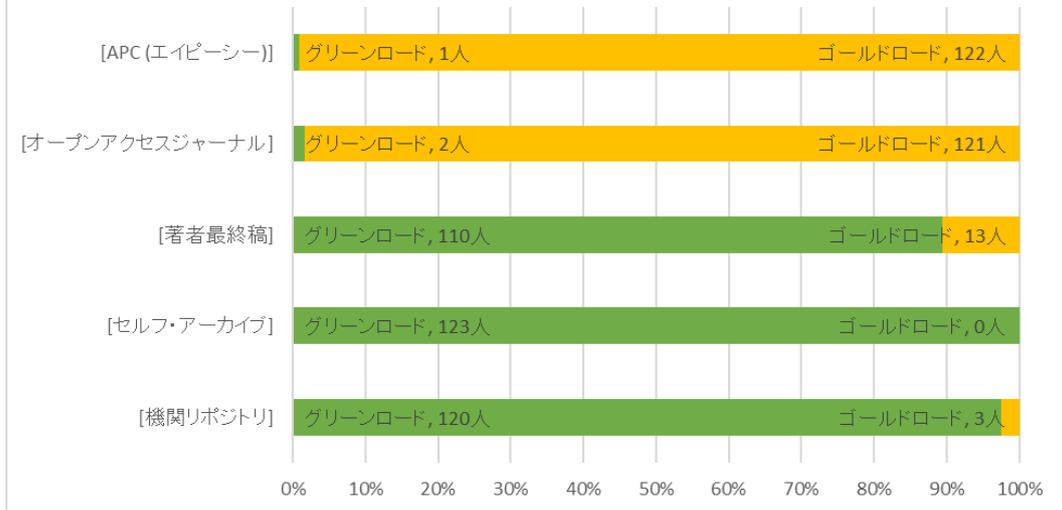
① 概況

回答者数は延べ123人。回答率は100%。

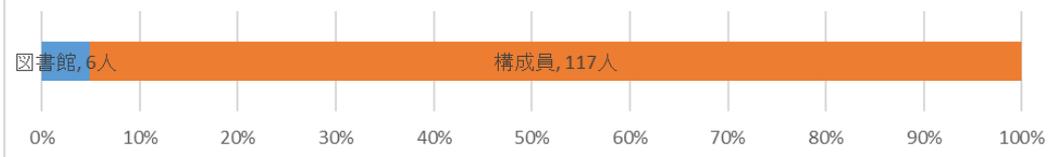
② 選択課題の回答状況



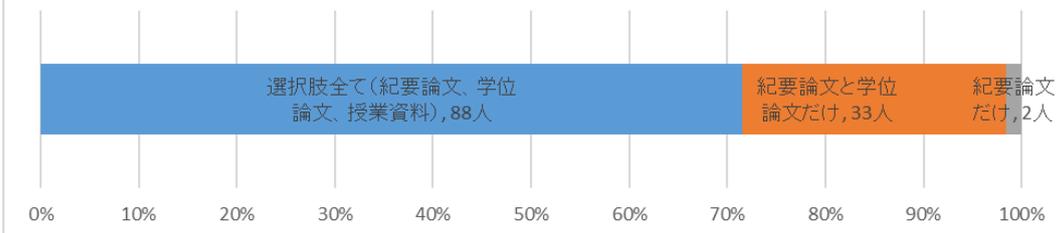
(3) オープンアクセスを実現するための方法として、グリーンロード、ゴールドロードの2つの方法が提案されています。次の用語をいずれかに分けてみましょう。



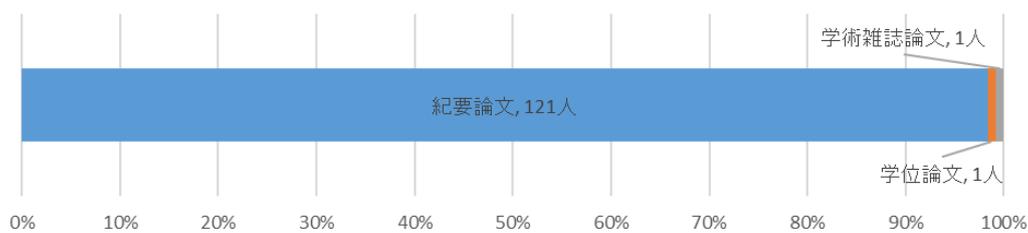
(4) 機関リポジトリとは、大学など、設置機関の()による成果をデジタルな形で収集・保存・公開を行う電子アーカイブです。()に当てはまる言葉は？



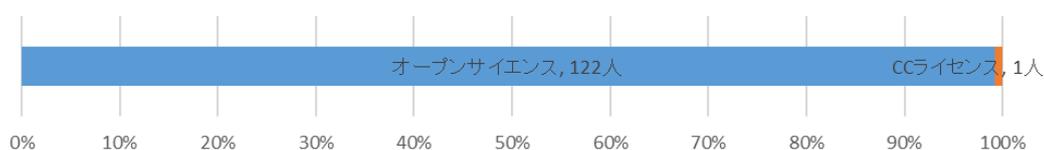
(5) 国内において、機関リポジトリはオープンアクセスの実現手段としてだけでなく、機関内で生み出されたさまざまな成果を収録し、公開するという役割も担っています。機関内で生み出される成果として考えられるものをすべて選んでください。



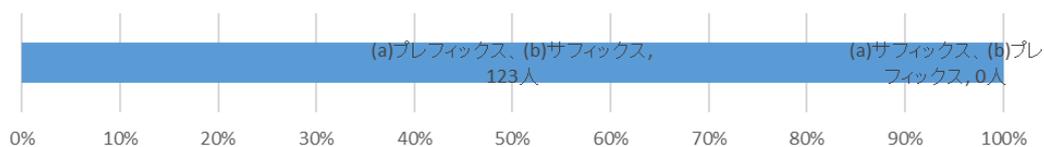
(6) 日本国内の機関リポジトリで、一番多い収録コンテンツは？



(7) ()とは、従来の論文のオープンアクセス化の理念と、研究データのオープン化の理念を包含するものです。()に当てはまる言葉は？

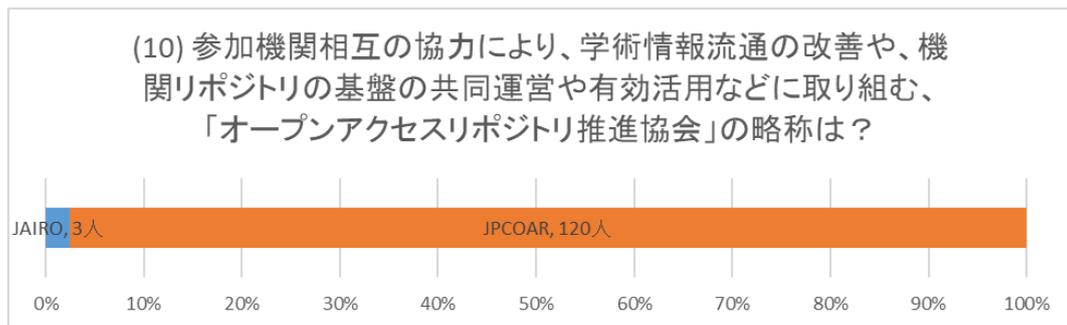


(8) 学術情報の流通で重要な識別子DOI(ディーオーアイ)は、各機関固有の(a)と個々のコンテンツを特定する(b)とで構成されています。次のうち正しい組み合わせを選んでください。



(9) ORCID(オーキッド)とは、()に与えられる恒久的な識別子です。()に当てはまる言葉は？





- ③ (記述 1) 『ハンドブック』Ⅰ解説編「3.2.国内の動向」を読み、オープンアクセス義務化に関する国内の動向について1点挙げ、その内容を簡潔に記述してください。
 ※回答の概況：学位規則について述べている回答が最も多い。次に目立つのはオープンアクセス方針に関する回答である。この他に、研究助成機関における動向等が書かれている。
- ④ (記述 2) 『ハンドブック』Ⅱ実践編「1.オープン化の意義」を参考に、あなたの機関の研究者(大学教員など)に、学術論文などの研究成果をオープンアクセスにする意義を説明するとすれば、あなたなら何を伝えますか？ 1点挙げ、説明のポイントを記述してください。
 ※回答の概況：研究成果の活用促進に主眼を置き理念を説く記述、業績評価に主眼を置き個人の利益を説く記述、視認性の向上に主眼を置き理念と実利の双方を含む記述、以上3つが同じ程度の回答数を有している。
- ⑤ (事例) コンテンツ収集に関する仕組み/広報事例についてお尋ねします。自機関における事例を挙げていただき、それについての効果をご自身なりに検証し記述してください。まだ未構築の機関や特に仕組みがない・事例がないという機関はその旨記載してください。
 回答の概況：およそ半数は「事例無し」との回答。事例を記述しているもののなかで最も多いのは紀要等の登録義務化に関するもの。その他の回答内容は様々で、オープンアクセス方針、学内他部署との連携、研究業績データの利用・連携等が挙げられる。

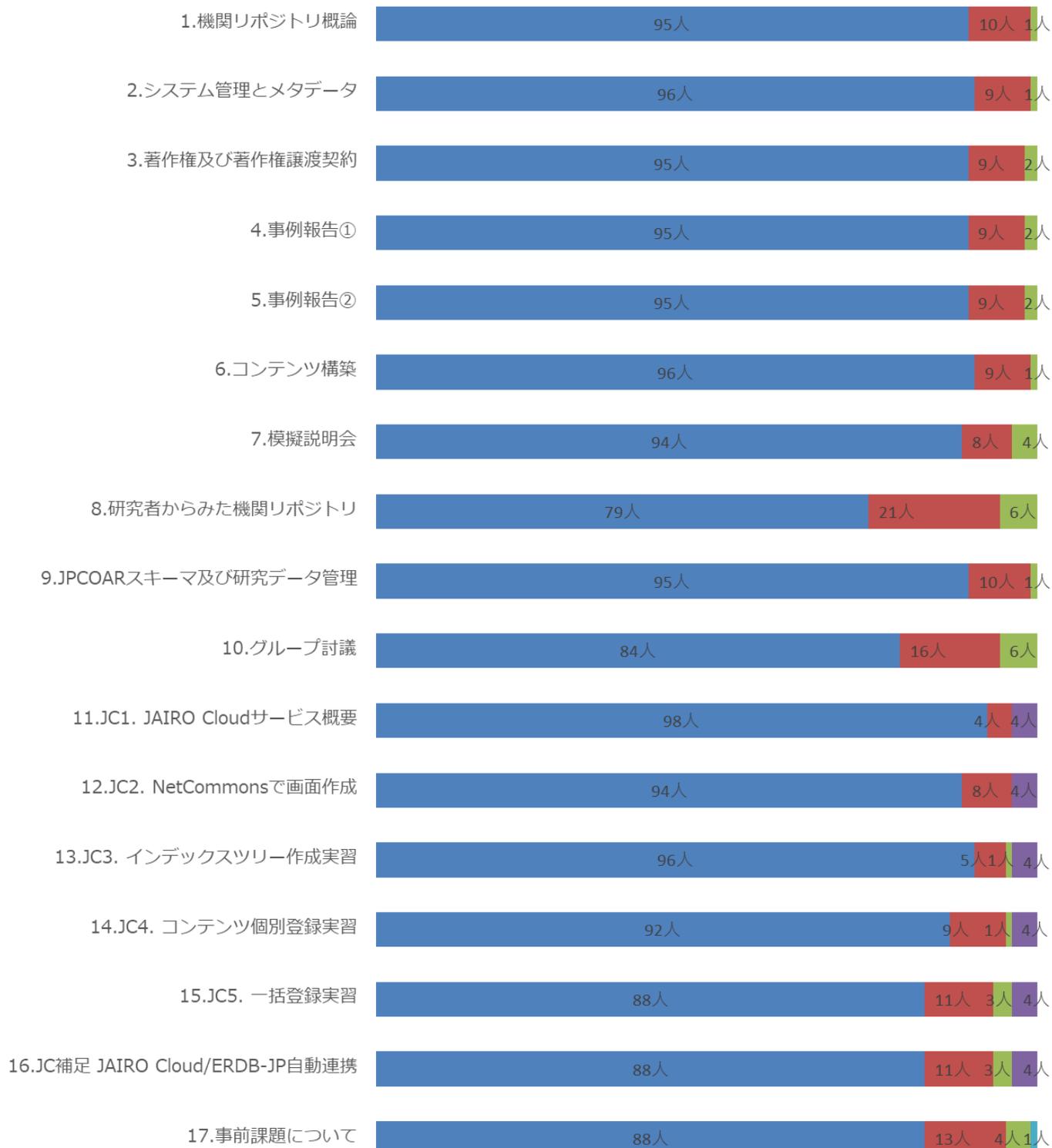
5 アンケート集計

① 概況

回答者数は延べ106人。回答率は約86%。

② 各講義の必要としている知識・内容への合致度合い

- 合致していた
- ほぼ合致していた
- あまり合致していなかった
- 受講していない
- 課題を行わなかった



③ 新任担当者研修についてのご意見・ご感想

※回答の概況：講師について、講義の段取りや設計について、時間配分について、講義の内容について等で今後の研修の改善につながるご意見・ご感想が多くあった。講師へのお褒めや、他機関との交流についての肯定的な記述も多い。図書館等内部における他担当や、大学等機関における上層部等、関係者への展開を示唆するご意見もある。残念ながら高度すぎてミスマッチと感じられたご感想もある。

④ JAIRO Cloud 操作説明会についてのご意見・ご感想

※回答の概況：講師・スタッフのサポートの下で、画面を見ながら講習を進めることができ、操作が身についた、といったご意見が目立つ。講師について、講義の段取りや設計について、時間配分について、講義の内容について等で今後の研修の改善につながるご意見・ご感想も多くあったが、最も目立つのは実習時間を増やしてほしいという要望である。

⑤ JAIRO Cloud へのご意見・ご要望

※回答の概況：フルバックアップの実現、統計の充実、著者名典拠の統合の簡便化、マニュアル等の充実といったご要望が寄せられている。

⑥ 情報交換についてのご意見・ご要望

※回答の概況：共有コミュニティについては、本研修で用意しているものや、JAIRO Cloud のコミュニティサイトに対する意見をはじめ、新たな仕組みの提言など、様々な記述があったが、目立つのは初心者が気軽に質問するにはハードルが高いという意見であった。この他に情報交換会について有意義との感想が多くあった。

⑦ JPCOAR の活動についてのご意見

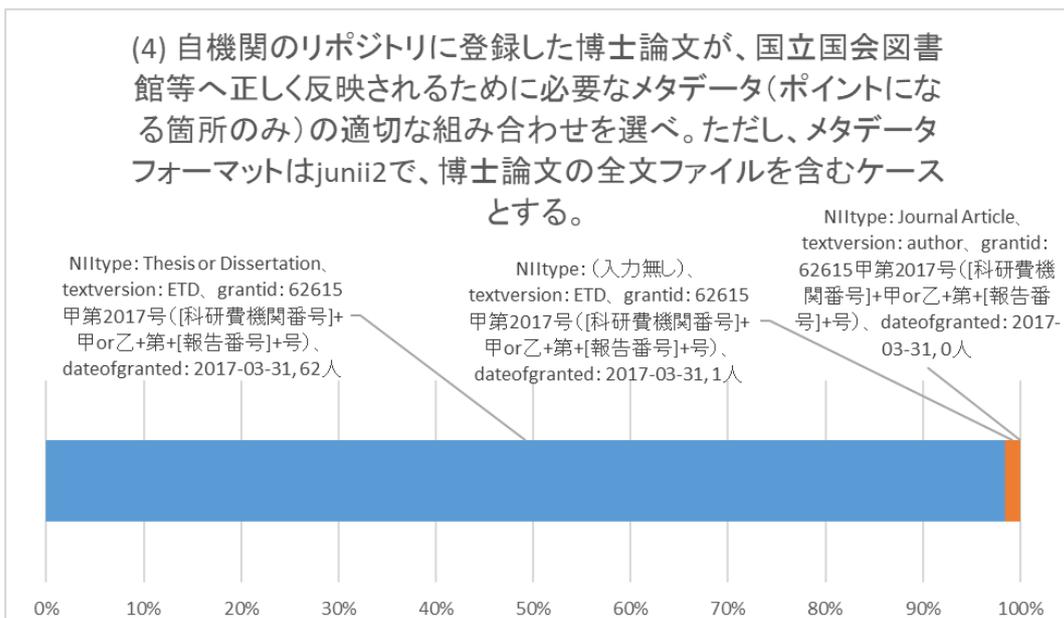
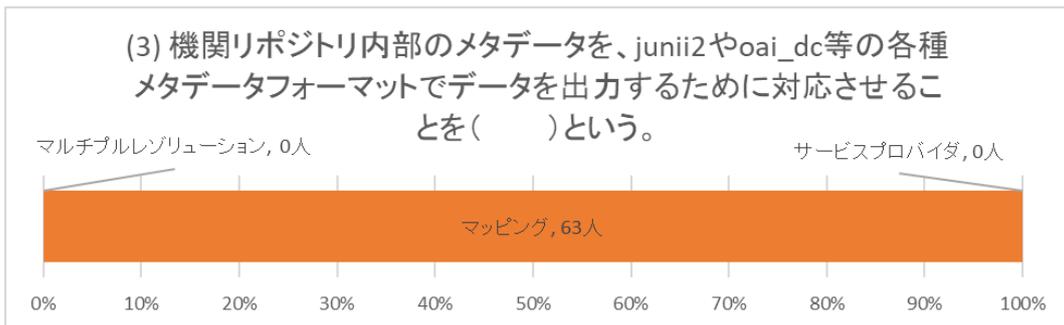
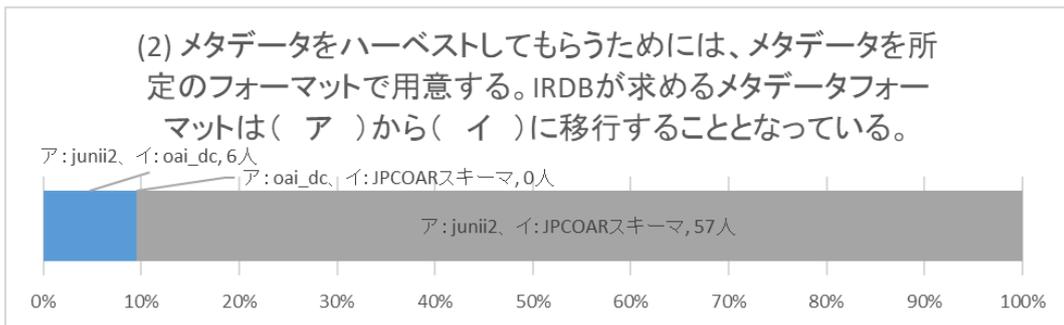
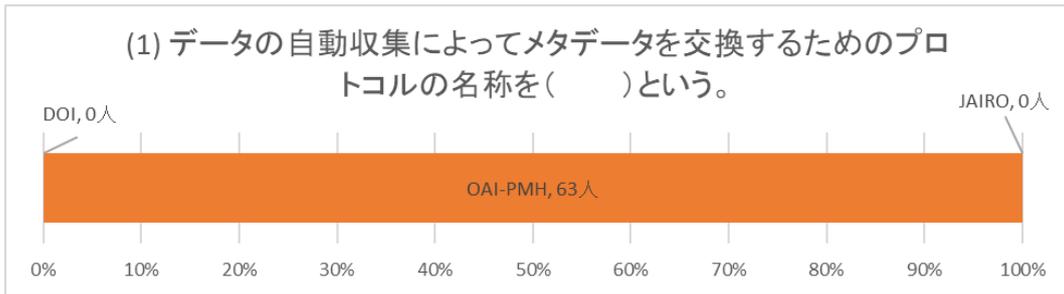
※回答の概況：JPCOAR の人的資源へのご配慮やご提案が複数あった。中には自らも JPCOAR の活動に参加を希望する旨の記載もあった。この他に、近隣県における連携や、広報の工夫に関する提案があった。

6 事後課題集計

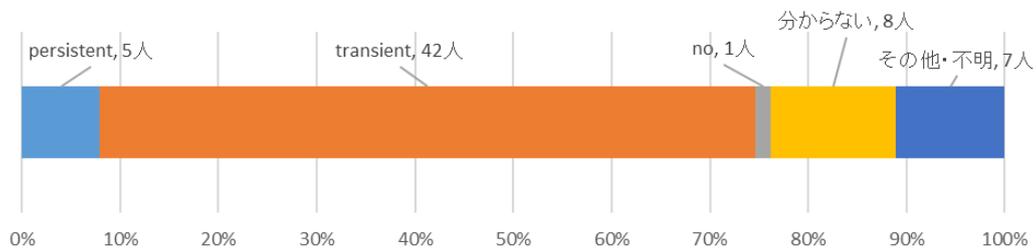
① 概況

回答者数は延べ 63 人。回答率は約 51%。

② 各課題の回答状況

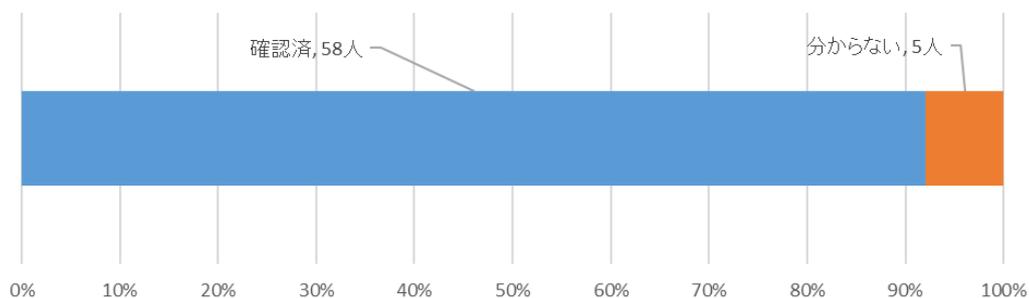


(5) 自機関のリポジトリについてURL<baseURL?verb=Identify>でOAI-PMH出力確認を行い、削除レコードの扱い方針を回答欄に記入すること。リポジトリを立ち上げていない機関は、いずれかの他機関のリポジトリで確認すること。



(6) OAIデータプロバイダリストのページ

<<https://www.openarchives.org/Register/BrowseSites>>にアクセスし、自機関のリポジトリについて「Record」をクリックして登録されているメールアドレスを確認し、回答欄に記入すること。ただし、ドメイン名は抜かし、ユーザー名のみ(@の手前まで)で差し支えない。リポジトリを立ち上げていない機関は、いずれかの他機関のリポジトリで確認すること。



以上